



「直向進前 (じつこうしんぜん)」

實相寺 花園会報

平成三十一年
一月一日発行
発行所

臨済宗妙心寺派
陽明山 實相寺
實相寺花園会

〒761-0450
高松市三谷町
1811番地1
TEL087-889-3838
編集発行人
山本文匡
<http://www.jissouji.net>

第117号

妙心寺管長玄々庵小倉宗俊老大師

(昭和二十三年年々)

只々、脇目もふらずに目標に向かって
一心不乱に突き進むこと。亥が迷いなく
真つ直ぐ突き進むように、人も迷いなく
今なすべきことを行っていく。
それが仏道修行なのです。
妙心寺の文化財を護持する会、微笑会
に加入されますと、毎年管長親下の色紙
が贈られてきます。興味がある方はお寺
か本山まで是非お問い合わせ下さい。

高松市仏教会の講演会ご案内

各種お知らせ

1月26日午後2時より、香川県立ミュージアム地下
一階の講堂において、花園大学教授佐々木閑先生の
ご講演があります。佐々木先生はNHK「100分
名著」などにも何度もお出演され、とてもわかりやす
く仏教を説いて下さいます。入場無料です。

講師
佐々木 閑 先生

高松市仏教講演会

ー現代人のためのブツダの教えー

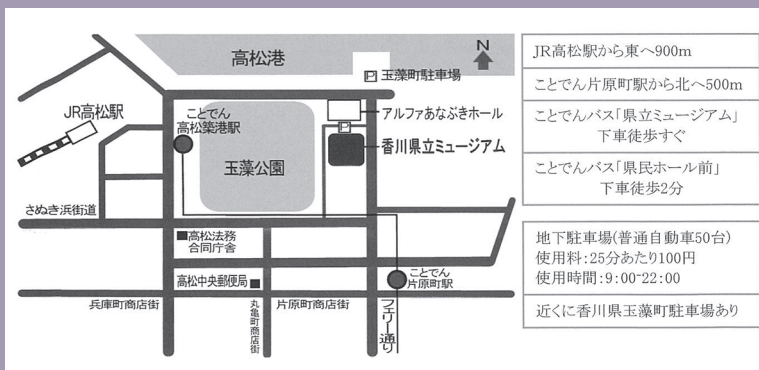
2019

日時 1/26 14:00-16:00
(開場 13:30)

場所 香川県立ミュージアム/地下1階講堂
高松市玉藻町5-5 ☎087(822)0002 (詳細は裏面)

入場無料 どなたでもお聴き頂けます。

主催 高松市仏教会 問合せ 087(821)4346 清光寺



JR高松駅から東へ900m

ことうでんバス片原町駅から北へ500m

ことうでんバス「県立ミュージアム」
下車徒歩すぐ

ことうでんバス「県民ホール前」
下車徒歩2分

地下駐車場(普通自動車50台)
使用料:25分あたり100円
使用時間:9:00-22:00

近くに香川県玉藻町駐車場あり

「たよらないのが仏さま？」①

皆様本年も宜しくお願い致します。

平成31年度の花園会推進テーマは、

『おかげさまの心』―たよらないのが仏さま…無依むえの道人どうじん―です。

3月末迄は30年度ではありますが、住職は3月1日より約2週間、三重教区を巡教することとなりました。皆様には留守の間、色々とう迷惑をおかけしますが、何卒ご理解の程お願い致します。

ついては今月中旬までに本山教学部にテーマについての論文を提出せよというので現在思案中でして、その勉強も兼ねて早々に次年度テーマについて書かせて頂きます。

さて最近は高齢化・少子化と共に、独

居や夫婦だけの世帯も増えており、地域の相互扶助が必要とされる中、「たよらないのが仏さま」といわれると、「え？頼っちゃいけないの？」と訝いぶかしく思うのは私だけではないでしょう。いやむしろ、「頼りたくても、頼れる相手がない」という方も少なくないのが現代の世相です。そんな中、随分と思いついたサブテーマだな、というのが率直な感想なのですが、このサブテーマを正しく理解するには、その後にある「無依の道人」を理解する必要があります。

「無依の道人」は臨濟禅師の言葉で、『臨濟録』の中に4箇所出て来ます。最初に登場する「真正しんしょうの見解けんげ（正しい人生観）とは何か？」について説かれた部分を要

約しますと、「一切（全ての存在）は凡聖ぼんしょう様々な世界を流転しているが、お釈迦様は涅槃に入られても生死しじふを去来すがたした相がない。何故かといえば世界は本来空であり実体がないと見ているからだ。ただ存在するのは今この話を聞いている無依の道人だけで、それが諸仏の母なのだ。だから仏は無依より生ず。もし無依を悟れば仏もまた無得なり。この様に見るのが真正の見解である」とあります。

無依とは拠り所を持たないということ。です。私達は生まれた時から男女・国籍など様々な属性を持っています。さらに長じては職業や学歴、年齢などにより社会的地位を帯びますが、それは本来の姿ではありません。例えば会社では役職だ

つた人も定年後はお歳暮や年賀状が減って寂しいというような話も耳にしますが、それは肩書きが本当の自分ではなかったということでありましょう。

一方、私達が生まれながらに頂いている心には性別も年齢もありません。この心のあり様が判れば、仏とは心から生じているのであり、得たとか得ないという類のものではないと見るのが真正の見解だと臨濟禅師は仰います。

ですから「たよらないのが仏さま」というサブテーマは、決して人の助けを受けないという意味ではありません。むしろ「俺は○○である」というような、自分以外の○○に依存せず、今ありのままの自分であることが仏なのです。